



SHTDL3sはほぼ電池サイズの基盤に温度湿度センサだけでなく、気圧センサ、加速度センサーを搭載しています。

気圧と傾きの情報が加わることで、今までの計測より幅広いデータの取得が可能になります。

究極の小型化

26×19mmですべて完結

4種センサ

温度・湿度・気圧・傾き

低消費電力

CR1225による省エネ測定

マルチ測定

温湿度モード、フルセンサモード



運動時の衣服内の測定



温湿度と動きの同時計測



気圧と温湿度の変化による健康管理



空調試験

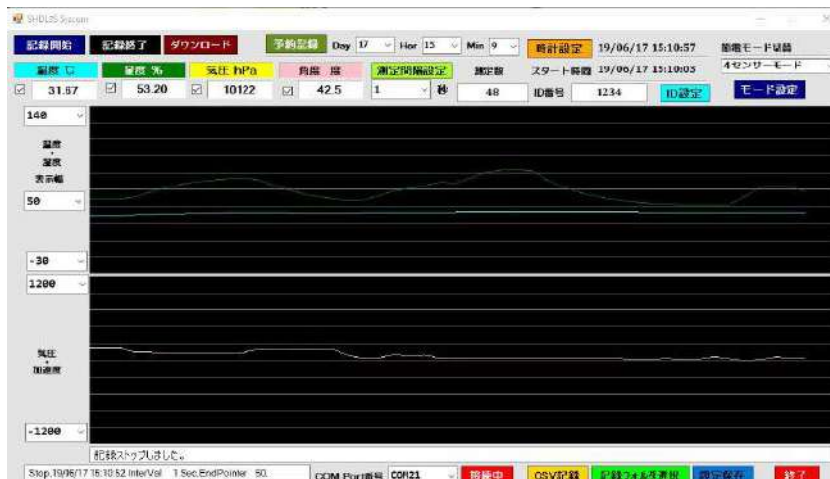


車内快適性試験



ビルやグリーンハウス等での温湿度管理

- ほぼ電池サイズの基板
- 4つのセンサを同時計測
- 超小型
- 低消費電力



気圧の身体への影響

特に身体に取り付けて温度湿度と同時に気圧を計測することで、身体への影響をデータでより詳しくみることが可能です。今までとは違う、新しいデータを取得できます。



傾きと温湿度

快適性試験では、体の動きに関連して温湿度を測定する事が多くあります。どの程度の動きの時に、どのような温湿度変化があるのかを具体的にみる事が可能です。

SHTDL3s 基本仕様

測定項目	温度・湿度、気圧、加速度
温度湿度センサ精度	温度 $\pm 0.2^{\circ}\text{C}$ 湿度 $\pm 1.5\%$ (Sensirion社製 SHT35)
気圧/加速度センサ精度	気圧: 0.2hPa (260 to 1260 hPa) (STMicroelectronics LPS25HB) 加速度: $0.8 \leq (\pm 2\text{G} \sim \pm 16\text{G})$ (STMicroelectronics LIS3DSH)
電池	リチウムボタン電池 CR1220、CR1225、BR1225
メモリ / 測定間隔	フラッシュメモリー 128Kバイト / 1秒 - 3600秒 (任意選択)
インターフェース	USB 通信・ダウンロード専用ケーブル
寸法	26.2 × 19.2 × 10 (mm)

